



「玉ねぎの皮で染色しよう♪」

染色と聞くと難しそう・・・と思うかもしれませんが、キッチンにある道具と日常の料理で出る廃棄物を集めて作れます。今回は身近な玉ねぎの皮を使って毛糸や手ぬぐいを染める簡単な方法を紹介します。染められる素材は、同じく天然素材の綿、麻、絹です。化学繊維は多少入っていても染めることはできますが、100%天然素材の方がよりきれいに染められます。

●材料

綿ハンカチ 50cm四方2枚（20g程）

たまねぎの皮 10g（染める布の半量で玉ねぎ5～7個分）

焼みょうばん 2g（染める布の重さの10%）

※皮を保管する場合、ザルやネットなどに広げてカビが生えないように干す。



●道具（鍋やボウルはステンレス、ホーロー、プラスチックを使用する。）

・鍋2つ ・ボウル ・菜箸 ・洗濯ネットや水切りネットなど



●染める布の準備

①ぬるま湯を入れたボウルに布を浸し優しく洗う。染めムラを防ぐために糊が付いている布の場合は中性洗剤で洗い、しっかりとすすぎ絞る。模様をつける場合は、輪ゴムなどを使って自由に縛る。

②少量の湯でミョウバンをしっかりと溶かし透明になるまで置く。

③鍋にハンカチが浸る程度の水と②を混ぜ火にかけ40～60℃に温まったら火を止める。

④ミョウバンを溶かした③の鍋にハンカチを20分浸ける。

この作業を「媒染（ばいせん）」と言い、色を定着させ、発色を良くしたり、色落ちを防ぐために行う。

⑤20分経過したら、ハンカチを水で洗う。これで染める準備は完了です！

●玉ねぎの皮の染液の作り方

①玉ねぎの皮を洗濯ネットに入れ鍋に入れる。

②洗濯ネット全部が浸る程度の水を加え火にかける。

③沸騰後弱火にし20分煮出す。

④煮出したら火を止め、たまねぎを引き上げる。これで染液が出来上がりです！

●ハンカチを染める

①ハンカチを熱々の染液に20分程浸す。

〈ポイント〉乾くと少し色が薄くなるので、少し濃く染めておくと理想に近い色に仕上がる。

②染液に浸けたあとは水でしっかりと洗い、乾かす。

これで玉ねぎの皮で染めたハンカチの完成です！

心も身体も暖まる植物染色、冬の手仕事におすすめです。（文・写真 濱田 夕子相談員）



2月の花とみどりの講習会

【押し花でランチョンマットを作ろう】

日時：2月14日（土）10時～12時
 場所：花とみどりの相談所
 内容：押し花を作り、持参した写真を装飾します。
 講師：豊中緑化リーダー会
 費用：600円
 定員：24人
 申込：2月7日（土）9：15～ 電話可



写真はイメージです

【クリスマスローズの育て方と苗の植え付け】

日時：2月21日（土）10時～12時
 場所：花とみどりの相談所
 内容：苗の植え付けをして、管理栽培方法を学びます。
 講師：坂本賀津子さん（尼崎市都市緑化植物園相談員）
 費用：800円
 定員：24人
 申込：2月14日（土）9：15～ 電話可



講習会の様子



当相談所の果樹見本園には
 色々の水仙があります。
 毎年良い香りを放ち春の訪れ
 を感じさせてくれます。
 まだまだ寒いこの季節に
 見本果樹園に花を咲かせて
 春の訪れをお賑やかにして
 れています。
 是非、花と香りを楽しみに
 お越しください。



3月頃開花

花とみどりの相談



相談時間は、**火曜日・木曜日**の午後1時から4時30分までです。
 電話による相談も行っています。

《2月の休所日》 毎週の日曜・月曜日と11日(水)24日(火)です。

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号（豊島公園内） 阪急宝塚線 曽根駅南 約500m

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638